



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東 名

上場会社名 アイカ工業株式会社

コード番号 4206 URL <http://www.aica.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小野 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務統括部長

(氏名) 百々 聡

TEL 052-409-8261

四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	108,167	3.6	11,594	6.0	11,949	3.8	7,194	△6.2
27年3月期第3四半期	104,368	2.0	10,937	5.5	11,514	9.0	7,667	29.4

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 5,967百万円 (△39.4%) 27年3月期第3四半期 9,846百万円 (6.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	110.21	110.13
27年3月期第3四半期	118.04	117.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	149,715	110,304	70.8
27年3月期	147,017	107,226	70.2

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 106,060百万円 27年3月期 103,182百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	20.00	—	23.00	43.00
28年3月期	—	21.00	—		
28年3月期(予想)				23.00	44.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	151,000	5.0	15,800	4.1	16,100	1.4	9,500	△6.3	145.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	67,590,664 株	27年3月期	67,590,664 株
28年3月期3Q	2,303,018 株	27年3月期	2,333,601 株
28年3月期3Q	65,277,569 株	27年3月期3Q	64,954,805 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国・新興国経済の減速懸念など外需環境に不透明さがみられるものの、円安や原油安等に伴う企業業績の良好な推移、雇用情勢の改善等を背景とし、緩やかな回復基調が続きました。また、アジア・オセアニア経済は、中国経済の減速をはじめ、アジア新興国の景気の下振れ懸念等によるリスクが依然として残り、先行き不透明な状況が継続しています。

国内建築市場におきましては、新設住宅着工戸数が前年比で増加傾向に転じるなど、回復の兆しが見えたものの、非住宅関連につきましては、人手不足や資材の値上がりなどに伴う建設費の高騰や工事の遅れが一部顕在化し、本格的な回復には至っておりません。

このような経営環境の下、当社グループは、医療・介護施設をはじめとする非住宅市場及びリフォームなどの成長分野に対する営業活動の強化、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社及びその子会社とのシナジーの追求、アジア地域におけるメラミン化粧板販売の強化、機能材料事業の強化などを推進いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高108,167百万円（前年同四半期比3.6%増）、営業利益11,594百万円（前年同四半期比6.0%増）、経常利益11,949百万円（前年同四半期比3.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7,194百万円（前年同四半期比6.2%減）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。なお、セグメント間の内部売上は除いております。

(化成品セグメント)

接着剤系商品は、国内の木工・家具向け汎用接着剤の新規採用が進み売上は堅調に推移しましたが、合板用・集成材用接着剤は前年を下回りました。海外では、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社の子会社が、アジア太平洋地域における接着剤・産業用樹脂の需要を取り込むことができた結果、売上・利益を伸ばすことができ、連結業績に大きく寄与いたしました。

樹脂系商品は、土木・補修・補強市場向けの「ダイナミックレジン」の物件獲得が順調に進み売上を大きく伸ばす事ができました。また、外装・内装仕上塗材「ジョリパット」は改修材料を中心に回復の兆しが見えてきたものの前年を下回りました。

非建築分野への取り組みとして注力している機能材料事業につきましては、有機微粒子や自動車向け接着剤が低迷した結果、前年を下回りました。

なお、昭和電工株式会社のフェノール樹脂事業を譲り受けたアイカSDKフェノール株式会社については、9月1日より連結業績に組み入れております。

このような結果、売上高は56,720百万円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）4,057百万円（前年同四半期比17.2%増）となりました。

(建装材セグメント)

建装材セグメントの主力市場である国内非住宅市場においては、商業施設や公共施設の新築やリニューアルに注力しましたが、教育施設、医療福祉施設の需要が振るわず売上は低調に推移しました。

一般化粧板、化粧ボードは、国内において前年を下回りましたが、海外においてはインドを中心に売上を伸ばし、全体としては前年を上回りました。4月にアイテムを大幅拡充し、営業強化を進めている粘着剤付化粧フィルム「オルティノ」は引き続き大きく売上を伸ばすことができました。

なお、三菱マテリアル建材株式会社の建材事業を譲り受けたアイカテック建材株式会社については、10月1日より連結業績に組み入れております。

このような結果、売上高は24,966百万円（前年同四半期比10.9%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）4,944百万円（前年同四半期比5.2%増）となりました。

（住器建材セグメント）

不燃化粧材「セラール」は、リフォーム・リノベーション市場において売上を伸ばすことができましたが、新築住宅向けキッチンパネル用途や、医療・介護施設、教育施設向け壁用途において苦戦し、前年を下回りました。

集合住宅向けのメラミン扉は売上を伸ばすことができましたが、メラミン化粧板を曲面加工したポストフォームカウンターは前年を下回りました。商業施設・教育施設向けの人工大理石の板材・加工品は好調に推移しました。

インテリア建材は、戸建住宅向け室内ドア「メラフュージョンプレーン」の意匠性が評価され売上を伸ばしたものの、医療・介護施設向け機能引戸「U. D.（ユニバーサルデザイン）コンフォートシリーズ」は苦戦し、全体で前年を下回りました。

このような結果、売上高は26,480百万円（前年同四半期比2.1%減）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）4,091百万円（前年同四半期比4.6%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ2,698百万円（1.8%）増加し、149,715百万円となりました。主な資産の増減は「受取手形及び売掛金」が3,462百万円、有形固定資産が2,058百万円、投資その他の資産の「その他」が874百万円増加したこと、「現金及び預金」が2,508百万円減少したことなどによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ379百万円（1.0%）減少し、39,411百万円となりました。主な負債の増減は仕入債務（「支払手形及び買掛金」、「電子記録債務」）が1,806百万円増加したこと、「短期借入金」が1,173百万円、「未払法人税等」が1,262百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ3,077百万円（2.9%）増加し、110,304百万円となりました。主な増減は「親会社株主に帰属する四半期純利益」7,194百万円、剰余金の配当2,871百万円により、「利益剰余金」が4,322百万円増加したことなどによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.6ポイント増加し、70.8%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、平成27年4月30日公表の業績予想からは変更ありません。景気の先行きは不透明感を増しており、今後の景気の動向によって通期の業績見込みについては見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、上記の変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,220	32,711
受取手形及び売掛金	45,692	49,155
商品及び製品	5,926	6,704
仕掛品	560	1,018
原材料及び貯蔵品	5,021	4,719
その他	4,523	3,726
貸倒引当金	△273	△249
流動資産合計	96,670	97,787
固定資産		
有形固定資産	28,318	30,377
無形固定資産		
のれん	4,495	3,090
その他	2,126	2,208
無形固定資産合計	6,621	5,299
投資その他の資産		
その他	15,406	16,281
貸倒引当金	-	△29
投資その他の資産合計	15,406	16,251
固定資産合計	50,346	51,928
資産合計	147,017	149,715
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,400	20,707
電子記録債務	4,674	4,173
短期借入金	1,429	256
未払法人税等	2,566	1,304
賞与引当金	1,469	923
その他	6,115	5,039
流動負債合計	34,655	32,405
固定負債		
長期借入金	1,426	1,154
退職給付に係る負債	684	1,128
その他	3,023	4,723
固定負債合計	5,134	7,006
負債合計	39,790	39,411

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,270	13,271
利益剰余金	73,527	77,850
自己株式	△2,030	△2,005
株主資本合計	94,659	99,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,511	3,835
繰延ヘッジ損益	△8	△3
為替換算調整勘定	4,845	3,035
退職給付に係る調整累計額	174	185
その他の包括利益累計額合計	8,523	7,052
新株予約権	67	36
非支配株主持分	3,976	4,206
純資産合計	107,226	110,304
負債純資産合計	147,017	149,715

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	104,368	108,167
売上原価	76,289	78,013
売上総利益	28,078	30,154
販売費及び一般管理費	17,141	18,560
営業利益	10,937	11,594
営業外収益		
受取利息	66	68
受取配当金	229	286
その他	627	679
営業外収益合計	923	1,033
営業外費用		
支払利息	92	69
売上割引	97	103
為替差損	-	164
子会社株式取得関連費用	-	152
その他	157	188
営業外費用合計	347	678
経常利益	11,514	11,949
特別利益		
事業譲渡益	1,381	-
特別利益合計	1,381	-
税金等調整前四半期純利益	12,895	11,949
法人税、住民税及び事業税	4,174	3,626
法人税等調整額	398	505
法人税等合計	4,573	4,132
四半期純利益	8,321	7,816
非支配株主に帰属する四半期純利益	654	622
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,667	7,194

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	8,321	7,816
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	523	323
繰延ヘッジ損益	△0	5
為替換算調整勘定	961	△2,214
退職給付に係る調整額	28	10
持分法適用会社に対する持分相当額	11	24
その他の包括利益合計	1,524	△1,849
四半期包括利益	9,846	5,967
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,038	5,723
非支配株主に係る四半期包括利益	807	243

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	化成品	建装材	住器建材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	54,808	22,510	27,049	104,368	—	104,368
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,162	1,747	—	3,910	△3,910	—
計	56,970	24,258	27,049	108,278	△3,910	104,368
セグメント利益	3,460	4,700	4,290	12,451	△1,513	10,937

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,513百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,514百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	化成品	建装材	住器建材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	56,720	24,966	26,480	108,167	—	108,167
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,002	1,796	—	3,799	△3,799	—
計	58,723	26,763	26,480	111,967	△3,799	108,167
セグメント利益	4,057	4,944	4,091	13,093	△1,498	11,594

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,498百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,499百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。